

4. スポーツのまちづくりについて、数点お聞きします。従来スポーツは教育の範疇でとらえられ、スポーツの事務事業の本籍は「教育委員会」であり、教育的視点と公平性・平等性が最も重要視されてきました。しかしスポーツには多面的な良さがあり、生きる力の涵養や青少年の健全育成といった教育的な側面とのほかに、スポーツを通じて地域社会の連帯感や一体感を生み出し地域社会の再生にも大きな力を発揮し、さらにはスポーツ産業の広がりが新たな需要と雇用を生み出すという経済効果も期待され、スポーツの都市経営的な側面が注目されるようになりました。平成19年に法が改正され、スポーツに関する事務事業は条例の定めにより、学校体育を除き知事や市町村長でも管理し執行できることになりました。東大阪市では令和2年4月から、学

2012第4回定例会 個人質問

はスポーツを地方創生の大きな柱と位置づけ、スポーツ産業の活性化に向けスポーツで収益をあげ、その収益をスポーツへ再投資する自律的好循環モデルを形成しようとして、スタジアム・アリーナを核としたまちづくりの考え方を取り入れたた多機能型施設の建設を推奨しています。平成28年には経済産業省とスポーツ庁が「スタジアム・アリーナ推進官民連携協議会」を立ち上げ、多様な世代が集う交流拠点となるようなスタジアム・アリーナを2025年までに20カ所整備することを具体的な目標として掲げています。

スタジアム・アリーナは、スポーツの試合だけでなくコンサートやライブイベント、展示会を開催することが出来、ショッピング・医療・シアター・保育・高齢者施設などを併設することにより、スポーツを起点

2012第4回定例会 個人質問

などのプロスポーツと積極的に関わる自治体が全国で見られるが、東大阪市もそういった個性あるまちづくりをしていく時期に来ているのではないかと質問しました。それに対して市長は、「地域に根づいたプロスポーツなどとの積極的な協働によるまちづくりを考えることは、今後の都市経営を考える中でひじょうに有効なツールであると考えております」というプロスポーツの有用性について前向きなご答弁をいただきました。当時はスポーツを教育委員会が所管しているときであり、ラグビーWカップの招致も決まっていない時で、行政がプロスポーツの活用をまちづくりの中に生かすということを言及することが難しい時代でしたが、ラグビーWカップが大きな成功の裡に終わり、スポーツの所管が市長部局に変わった今、市はプロスポーツとまちづく

2012第4回定例会 個人質問

でサウンディング型市場調査がなされていますが、当該土地は利便性の高い土地であり、アリーナの立地としては最適であります。インドアスポーツの拠点としてアリーナが整備されると、アウトドアスポーツの拠点である花園ラグビー場と相俟って、東大阪市のスポーツのまちづくりは飛躍的に伸びると考えます。府の所有地であり東大阪市として単独で計画できるものではありませんが、府のサウンディング型市場調査実施要領によると「東大阪市が実現を期待する施設・機能を踏まえて」調査を実施しており、モノレール事業用地等で活用する区域が確定したのちに土地を売却する意向であるとしています。市は当該土地にどのような施設・機能を期待するのか、また府に対して活用方法についてどのような要望を出そうとしているのかお答えください。

2012第4回定例会 個人質問

校体育を除くスポーツに関する事務を「スポーツのまち推進室」が担うことになり、スポーツビジネス戦略課をつくり、公平性・平等性を超えて、まちづくりの視点で大胆な施策を打ち出すことが出来るようになりました。これはスポーツのまちづくりにとって、大きなターニングポイントであり、ほとんどの自治体が今も教育委員会でスポーツを所管しているなかで、組織を大きく改編したことは高く評価できることです。スポーツビジネス戦略課をつくったことは、スポーツのまちづくりを市の大きな柱にし、スポーツの経済的な側面をより明確して内外に宣言したということであります。スポーツビジネス戦略課が目指すものは何か、お答えください。

次にスタジアム・アリーナを中心としたまちづくりについてお聞きいたします。国

2012第4回定例会 個人質問

とした新しい産業価値を創造することが出来るほか、災害が発生した時の避難場所として防災施設としての役割も果たすことが出来、多機能複合型スポーツ施設とすることで、まちの中核施設として地域内外から人が集まり交流するコミュニティを形成し交流拠点となります。スタジアム・アリーナを中心としたまちづくりは、都市に新たな魅力を創造し新しい層の人口が増える要因にもなりうると思います。スタジアム・アリーナを中心としたまちづくりについて、市はいかがお考えか、お聞かせください。

次にプロスポーツの招聘と、まちづくりについてお聞きします。私は平成22年3月議会において、画一化された金太郎飴のようなまちづくりから個性あふれるいきいきとしたまちづくりを実践するツールとしてサッカーやバスケットボール、野球、卓球

2012第4回定例会 個人質問

りの関りについてどのようにお考えか、お聞かせください。

最後に、スタジアム・アリーナの立地についてお伺いします。かつてスタジアム・アリーナは郊外の広い土地に建設され、そこに人を呼び込むという考え方でしたが、多機能複合型スポーツ施設として地域コミュニティの核となるという考え方の下では交通の利便性の高い立地戦略に考え方が変わってきています。いま市庁舎前的大阪府営東大阪春宮住宅活用用地は大型ショッピングモールとなっていますが、令和4年12月には定期借地権が終了し撤退することになっています。当該土地には大阪モノレールの（仮称）荒本駅が令和11年に開業予定であり、土地の跡地がどのように活用されるかについては東大阪市として大きな問題であります。いま土地の活用方法につき府

2012第4回定例会 個人質問